

平和を實現するために

川東中学校三年

石井 薫

今年で原爆投下から七十二年が経った。今

回は、広島で黙禱をさせ、平和について

もう一度考えたい。その思いで参加した。

僕たちはまず、広島平和記念館に訪ねた。

そこには、ボロボロになった服や溶けた瓶、

原爆で被爆した人の写真を見て改めて核兵器

の恐しさを感じた。この時は、

二度と原爆も使ってはいけなない。

ということ写真を写真の中から訴えているように

思えた。

そして原爆投下から七十二回目の八月六日

がきた。当日は、予想以上の外国人の方が参

列していた。こんなにも大勢の人が「広島」

に関心を持っていることに、僕は胸を打たれ

た。八時十五分になると一分間の黙禱をさせ

げた。その一分は、核兵器廃絶という願いが

一つになったと感じた。僕は、平和宣言の中

にある、  
核兵器廃絶を受け止め世界中に反感の輪を  
広げたい。という言葉が印象に残った。僕は、  
広島で見聞したことを多くの人に伝え、聞  
いた人はまた次の人に伝えていくことが大切  
だと感じた。  
もう二度とこのような事を繰り返さないた  
めに、そして世界平和を目指すために後世に  
伝えていかなければならない。そが僕たち  
に託された使命だと思ふ。